

# 議会だより

No144

平成27年  
7月31日発行

群馬県邑楽町議会 URL <http://www.town.ora.gunma.jp/chosei/gikai> E-mail [gikai@swan.town.ora.gunma.jp](mailto:gikai@swan.town.ora.gunma.jp)



中野幼稚園の夏祭り

## 平成27年 5月臨時会・6月定例会

議会の構成が決まる(正副議長、各常任委員等)

- 新しい議会構成……………2~3
- 可決された議案……………3~4
- 一般質問……………4~12
- わたしのふるさと等……13~14

### 一般質問 9人の議員が町の考えを問う

- ・塩井早苗 議員
- ・松島茂喜 議員
- ・神谷長平 議員
- ・坂井孝次 議員
- ・大賀孝訓 議員
- ・大野貞夫 議員
- ・小島幸典 議員
- ・黒田重利 議員
- ・小沢泰治 議員

# 就任あいさつ

議長 田部井健二 63歳(3期) 中野



5月臨時会  
において、議員各位のご支持を賜り、第34代議長に就任させていた

国では地方創生の名のもと、地方を活性化させるべく政策を打ち出しています。しかしながら、その内容については自治体のアイデアに依存するもので、それ故、自治体の力量が問われてきます。

だくこととなりました。誠に光栄の極みでありますとともにその責任の重さに身の引き締まる思いです。

さて、今日の町を取り巻く状況は、大変厳しいものがあります。合計特殊出生率の低下と高齢化率の増加に伴い、少子高齢化が進み、人口減少の流れが止まりません。

議員各位と力を合わせ町民皆さまから議会は一生懸命町のため、町民のため頑張っていると評価していただければよい一層努力してまいります。今後ともご指導を賜りますようお願い申し上げます。就任のごあいさつといたします。

副議長 大野 貞夫 73歳(3期) 中野



5月臨時会  
におきまして、議員皆さまのご推挙を賜り、副議長に選任されました。

まのご意見、ご提言を真摯に受け止めるとともに、情報開示を含めて、広く町民に開かれた議会にしていく責任があると思っております。議長の補佐役として、議員皆さまのご協力をいただきながら、町民皆さまの期待に応えられるよう努めてまいります。

少子高齢化の社会を迎え、私たちの住む邑楽町でもこれからの町づくりをどのように進めていくのか、大変難しい行政運営が問われる時期を、迎えることとなります。

今後ともご指導ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。就任のごあいさつとさせていただきます。

私たち議会としましては、町民皆さま

## 議会構成決まる

4月26日に行われた町議会議員選挙の結果、14人の皆さんが当選しました。5月21日に初議会が開かれ、議長に田部井健二議員、副

議長に大野貞夫議員が選出されました。また、各常任委員会などの議会構成と一部事務組合の議員を選出しました。議会構成は、左記のとおりです。  
(年齢は7月31日現在)

## 総務教育常任委員会

総務教育常任委員会は、総務課、企画課、税務課、住民課、会計課、教育委員会の所管に関する事項、及び他の常任委員会の所管に属さない事項について調査及び議案・請願等を審査するため設置されています。

副委員長 塩井早苗 64歳  
(2期) 光善寺



委員 半田晴 72歳  
(2期) 中野



委員長 坂井孝次 73歳  
(2期) 中野



委員 神谷長平 68歳  
(2期) 中野



委員 大賀孝訓 62歳  
(1期) 明野



委員 黒田重利 46歳  
(1期) 藤川



産業福祉常任委員会

産業福祉常任委員会は、都市建設課、農業振興課、農業委員会、商工振興課、水道課、子ども支援課、健康福祉課、安全安心課の所管に関する事項について調査及び議案・請願等を審査するため設置されています。

委員長 原 義裕 65歳  
(2期) 石打



副委員長 松村 潤 66歳  
(2期) 篠塚



委員 小島幸典 72歳  
(4期) 中野



委員 小沢泰治 69歳  
(3期) 中野



委員 大野貞夫 73歳  
(3期) 中野



委員 松島茂喜 46歳  
(2期) 新中野



委員 瀬山 登 62歳  
(1期) 鶉



議会運営委員会

委員長 半田 晴  
副委員長 松村 潤  
委員 小沢泰治  
坂井孝次  
塩井早苗  
原 義裕

議会広報委員会

委員長 塩井早苗  
副委員長 松島茂喜  
委員 原 義裕  
瀬山 登  
大賀孝訓  
黒田重利

〔一部事務組合議会議員〕

邑楽館林医療事務組合議会議員  
大野貞夫  
塩井早苗

館林地区消防組合議会議員  
松村 潤  
黒田重利

大泉町外二町環境衛生施設  
組合議会議員  
田部井健二  
松島茂喜  
大賀孝訓

太田市外三町広域清掃組合  
議会議員  
田部井健二  
原 義裕

可決された議案

5月臨時会

〔専決処分の承認〕

邑楽町税条例の改正

邑楽町都市計画税条例の改正

邑楽町国民健康保険税条例の改正

地方税法等の一部を改正する法律が、4月1日から施行されたことに伴い、専決処分された税条例の改正について、承認しました。

〔人事案件〕

監査委員の選任

議員のうちから選任する監査委員に、小島幸典さん(中野)を選任することに同意しました。

◆ 固定資産評価員の選任

固定資産評価員に金井幸男税務課長を選任することに同意しました。

# 6月定例会

## 【報告】

西邑楽土地開発公社経営状況の報告

平成27年度事業計画・予算及び平成26年度決算に関する報告がされました。

## 【条例改正等】

群馬東部水道企業団の設立

水道事業の経営に関する事務を共同で処理するため群馬東部水道企業団を設立することについて、議決しました。

邑楽町福祉医療費の支給に関する条例の改正

支給対象者の住所要件の見直しに伴い、条例を改正しました。

邑楽町介護保険条例の改正

低所得者の介護保険料を軽減するため、条例を改正しました。

## 【人事案件】

教育委員会教育長の任命

教育委員会教育長に大竹喜代子さん（鵜）を任命することに同意しました。

固定資産評価審査委員会委員の選任

固定資産評価審査委員会委員に松原茂雄さん（中野）を再任することに同意しました。

監査委員選任についての再議

監査委員の再議について同意しました。

【特別委員会の設置】

中央公民館の建設に向け調査・研究するため、議長を除く全議員で構成する中央公民館建設特別委員会を設置しました。

## 平成27年度補正予算額

会計別	一般会計
予算現額	87億5,300万円
補正額	5,457万円
予算総額	88億0,757万円

### 一口メモ

専決処分ってなに？

議会が議決をしなければならぬ議案について、町長が議会を招集する時間的余裕がない緊急の場合に、町長が議会に代わって処理を行うことです。この場合、次の議会に報告し承認を求めなければなりません。

## 一般質問

一般質問は、6月16日及び17日に行われました。質問には、9人の議員が登壇し、町の行政事務などについて執行部の考えをただし、活発な議論が行われました。

## 自然災害の発生に備えて

**塩井早苗議員** 日本ではたび重なる地震が発生し、箱根山や浅間山でも噴煙を上げています。火山活動が活発化している証拠である。町の防災計画の現状及び執行部と職員間での計画内容の共有は。

**塩井早苗議員** 内容についての研修は、定期的の実施されているのか。

**安全安心課長** 邑楽町地域防災計画は、平成27年3月の修正版が最新である。災害時の対応は、このマニュアルに沿って行う。計画書は、議員、区長、関係機関など166カ所に配布している。防災計画・ハザードマップは、町ホームページで公開し、災害時職員初動マニュアルは、職員が日常業務で使用している。

**安全安心課長** 大規模災害が発生し、避難所に訪れる避難者をいかに迅速、的確に受け入れていくかを訓練した。今年9月6日の町防災訓練では、職員を中心に非常参集及び災害対策本部設置運営訓練を予定している。一般町民を対象にした住民参加型訓練も行う。止血、搬送方法、消火器操作や煙道体験、簡易土のう作り、倒壊建物救出訓練を体験し、有事の際の対応力の強化と心構えを習得する。

**塩井早苗議員** 各行政区ではどのような対応か。



地震により倒壊した石燈籠（石打地内）

**安全安心課長** 今年度は、前原、十三坊塚、谷中蛭沼で防災訓練の実施が予定されている。

**塩井早苗議員** 行政として訓練実施の呼びかけは。  
**安全安心課長** 自分の地域は地域で守るという考え方が基本であり、各行政区ごとの自主性を尊重したい。

**塩井早苗議員** 住民、避難弱者に対する行動計画は。  
**安全安心課長** 自宅で生活している高齢者や障がい者など、特に配慮を要する方

については、さらにきめ細かな体制づくりが必要だと思ふ。あらかじめ対象者から名簿掲載への同意をいただき、避難行動要支援者名簿を作成中である。

**塩井早苗議員** 学校等教育現場での避難訓練や防災学習は。  
**教育長** 震度5弱以上の時、学校待機・登下校の対応・親への引き渡し方など動き方の基準がある。危機管理マニュアルを確認して、年3回、地震・不審者・火災等の避難訓練を行っている。各学校においては、

災害安全、交通安全、生活安全の3つの領域でそれぞれ対策を考え、子ども自身が危機回避をする心、力を育てるということと大人が守ることを両輪として行っている。

**塩井早苗議員** 住民が、自己の安全確保ができるよう行政として指導に取り組むべきではと感じているが。

防災対策を  
十分なものに

**町長** 3行政区で防災訓練が予定されている。残る行政区についても同様な訓練

等が行われることで、災害から身を守ることになる。町として、訓練実施に向け

での相談や支援をして、防災対策の備えを十分なものにしていきたい。

中央公民館建設について

**松島茂喜議員** 中央公民館建設については、現在、基本設計が終了し、来年6月に着工という予定で進めていけるのか。

**生涯学習課長** 現在、基本設計が完了し、実施設計に入っている。これが、今年度末で完了予定である。また、来年度工事のための費用を、6月か9月の議会で

費用がかかってしまい、入札も2回成立しなかった経過がある。そのときどきの状況をよく見定めたい。で、間違いないよう進めていきたい。

同意いただくことになると思う。

**松島茂喜議員** 建設費の高騰などにより、工事入札が遅れる懸念があるが、どのような状況か。

**松島茂喜議員** 事業費を拡大して、規模をそのままにするか、規模を縮小して、事業費を15億円か16億円に抑えるか、工期をずらすか、町としてはどんな方向で考えているのか。

**生涯学習課長** この3年間で、群馬県では、人件費が35%も増えている。また、太田市の市民会館建築作業では、当初計画の倍近くの

**生涯学習課長** 何とか事業費の縮減を図っていかねければならないと感じている。今後設計者にも削減提案し、最低限の機能は維持しながら、どんな小さなところでも減らせるところは減らしていくという姿勢で見直しを進めていく。

## 行財政運営について

**松島茂喜議員** 使用料の問題だが、無料という意見もある。しかし、私は受益者負担の原則からすれば有料であるべきだと思う。教育長、町長の考えは。

**教育長** 体育館など他の施設と不平等にならないように検討する。

### 使用料は

#### 実費弁償でよい

**町長** 使用料については、実費弁償ということではないかと思う。

**松島茂喜議員** 決算書によると、公民館使用料は、23年度が4800円。24年度は900円。25年度が5300円である。対して町民

体育館は、23年度が43万4500円。24年度は37万2850円。25年度は47万5200円である。公民館では、ほとんどが減免措置であるが、体育館は、スポーツ登録団体からも年間7000円徴収している。これは

は現段階で不公平である。何故こういった状況かとい

えば、町には使用料に関わる算定基準がないからである。それを建物ができる前に明確に定め、周知して納得してもらったうえで使用してもらおうべきだと思うが。

**町長** その基準が明確でないということであれば、利用者に変な迷惑をかけている。また、金額にも大幅な差があるので、私からも十分指導して、そういうことがないように進めていく。

### その他の一般質問

・情報提供について



**神谷長平議員** 平成25年7

月のときに、中央公民館建設事業にかかわる資金計画についての参考資料が配布された。それによると、平成22年度決算では実質公債

費比率が5・8%、全国の類似団体40市町村中8位に位置していると説明された。現在（平成25年度）の状況を聞きたい。

**町長** 邑楽町の財政健全化比率は、財政的な面での懸念はない。将来的に実質公債費比率も5%未満になっている。類似団体等と比較しても遜色のない、健全財政を行っている。

**神谷長平議員** 邑楽町では、平成25年度の実質収支比率

9・94%、経常収支比率89・4%になっている。この比率をみて、町長はどのように考えているのか。

**町長** 経常収支比率につい

ては、70%から75%以下が望ましい判断になっている。経常経費の占める割合が若干それを上回っているので、今後は正していく必要がある。

**神谷長平議員** 議員必携で

は、実質収支比率が3%から6%、経常収支比率が75%以下、公債費比率が12%から13%が望ましいと明記されている。これらを基準に我々議員は、決算状況の判断をしている。平成25年度の実質収支比率9・94%、経常収支比率89・4%。これらを見ると約2億円、予算執行が少ないように考えられる。行政本来の目的である高いサービスの提供に努め、行政水準の確保を維持し、その向上を目指すべきと思うが。

**町長** 決算時期では、国民健康保険医療費の支出が十

分つかめず、一般会計からの繰出金が、多く残ってしまった。平成25年度ベースでは大きな残額が出てしまったという要素があることを理解していただきたい。

**神谷長平議員** 平成24年度の実質収支比率が7%、実質収支額3億8732万6000円、平成25年度では実質収支比率が9・94%、実質収支額5億5496万7000円になっている。この差をみると、実質収支比率2・94%、実質収支額が1億6700万円、平成25年度支出の方が少なくなっている状況である。町民の要望が満足された中で金が余るのが一番理想の行財政運営とと思っている。ぜひ、今後も会計年度独立の原則に沿った形の中で進めて、多くの町民の要望に答えられる行財政運営を行うべきと思うが。

粛々と進めていく

**町長** 当初予算に計上した事業については、肅々とその計画にもとづいて進めて

いく考えで、今後も取り組んでいきたい。

## まちづくりの取り組み状況について

**坂井孝次議員** 広報おうち1月号に「再発見、再評価、再認識、原点回帰のまちづくり」と、協働の町づくりについて書かれた新年のあいさつがあった。これは、

の町づくりが今後重要になってくるとの視点に立って皆さんに訴えた。

町づくりについて町長が一番大事だと考えている言葉だと思うが、わかりやすい言葉で言うとうなるか。

## 新たな時代に 対応した町づくり

**町長** 今、日本中の自治体では大きな転換期を迎えている。少子高齢化、人口減の問題等々、大きな課題を抱えている。私は町の独自性を生かした考え方に立って、新たな時代に対応していくということが大切だと思っ

ている。例えば、平成27年度邑楽町協働の町づくり事業補助金交付団体に、4つの団体が登録されているが、こうした呼びかけだけでは、なかなか町長が期待するような町づくりにつながらないと思うが。

**町長** 町民が自主的に、そして町も一緒になって取り組んでいくために、その要綱をつくった。今後、協働の町づくりが醸成されていくと思っ

ている。

**坂井孝次議員** 私はこの話を聞いて違いがわかった。

「こういうシステムをつくりました。皆さん町づくりに参加してください」としか町民には聞こえない。だから、結果的にはこういう形になる。これでは、町民から見ると目標が小さ過ぎる。今のような町づくりの呼びかけでは不十分だ。私は役場サイドでもっと具体的にわかりやすいテーマを設けて進めることがいいという提案をしたいが、副町長はどう思うか。

切だと思っ

**坂井孝次議員** 本当に私が思っていることと同じで喜んでいる。そこで「町民のニーズに応えることが町づくり」と言われたが、町民に再度の参加を働きかける

## 生涯学習の振興と 中央公民館の活用について

**大賀孝訓議員** 教育長は、社会教育と生涯学習の違いをどのように考えているのか。

**教育長** 社会教育とは、社会における課題解決や目的意識を持って行政側から事業を開設したり、指導したりということ。生涯学習とは、その社会教育の計画に沿って町民が学習している。課題に沿って町とともに解決し、自分の生きがいへとつなげていくことと思う。

(翌日、生涯学習の考え方について訂正発言あり)

考えがあるか聞きたい。  
**副町長** 今後、町としては総合計画策定に向けての地域座談会や子ども議会、あるいは各種団体との座談会などを通じて、協働の町づくりについても議題にしていきたいと考えている。

**大賀孝訓議員** なぜ生涯学習のことかという点、今後中央公民館の建設が予定されている。この建設に伴って既存の社会教育施設、公民館等を統廃合していくと聞いている。教育長は、中央公民館を生涯学習の核として進めていく考えはあるのか。

**教育長** 今、それぞれの地域で邑楽町公民館、長柄公民館、ヤングプラザにおいて公民館的活動を行っている。今後、中央公民館が完成したのちは、町の社会教育の拠点として、町民のよりどころとしていきたい。

**大賀孝訓議員** 生涯学習は非常に分野が広く、各課とも密接な関わりを持っている。ぜひ、生涯学習の振興を中央公民館を核として図ってほしい。さて、公民館ホール有料化の問題も含めて、どのように費用対効果を上げるために利用率を上げていくのか考えを聞きたい。

### 学びを高め 費用対効果を上げる

**教育長** 現在の施設ではキャパシティが小さいため、町外の施設を借りているが、今後は町外から貸してほしいという要望があれば貸していきたい。また、町民の学びを高めることにより、費用対効果が上がると考えている。

**大賀孝訓議員** 町民の学びを高めるとか漠然とした答えではなく、ホールの開館日数に対して何%の稼働率を見込んでいるのか。

**教育長** これから実際に煮詰めていく段階であるので、できるだけ空きを作らない、それくらいの気持ちで使っていきたい。

**大賀孝訓議員** きちんとした計画と目的と実行性をつ頃までに出せるのか。  
**教育長** 努力をしてお示したい。

**大賀孝訓議員** となると、全く無計画に進んでいるととらえるがよろしいか。  
**教育長** 計画はあるが、はつきり答えるのは難しい。

## 住宅リフォーム助成制度の 充実、拡充について

**大野貞夫議員** 町では、住宅リフォーム制度が、平成24年度から施行されている。導入後の実施状況は。

**町長** 平成24年度は、受付31件、補助金額222万3000円、補助対象の工事金額約6018万円であ

**大賀孝訓議員** 生涯学習の町づくりはお金をかけなくともできる。中央公民館を生涯学習の核として生涯学習の町づくり宣言等をするつもりはあるのか。

**教育長** 生涯学習だけがこの町を有名にし、素晴らしいものにするということにはならない。これから考えて、いい町づくりに努めていきたい。

**その他の一般質問**  
・財政改革における歳出の削減について

る。平成25年度は、受付21件、補助金額約152万円、補助対象の工事金額約4163万円である。平成26年度は、受付43件、補助金額約271万円、補助対象の工事金額約6825万円である。

町の中核をなしている中小零細企業の人たちを元気にさせていくということは、町の税収にも影響してく

**大野貞夫議員** 今、町内の企業数は、1000社を超える。そのほとんどが中小零細企業で、町の中核をなしている。現在、安倍内閣のアベノミクスで景気が良くなっていると宣伝されているが、実態はそういう感覚はない。非常に厳しいという声が聞こえる。実際には格差が広がっている。そういう中で、平成26年6月に小規模企業振興基本法が制定された。国と自治体に小規模企業への支援が、責務として明確化された法律である。町として具体的に何か行っているのか。

**町長** 町として、特にそのことについての支援は講じていない。商工会等においては、その制度の啓蒙を図り、活用法について進めている状況はある。

**大野貞夫議員** 町として、その中核をなしている中小零細企業の人たちを元気にさせていくということは、町の税収にも影響してく

る。この制度が実施されているが、まだ、それを利用して拡充するにどうしたらよいのか。邑楽町の場合は、補助率5%に対して、上限が10万円。例えば、中之条町が5%で20万円。みどり市が10%で10万円。館林市が10%で10万円。太田市が30%で15万円。渋川市が10%で10万円。東吾妻町が5%で20万円。嬭恋村が20%で20万円。玉村町が20%で20万円と、いろいろバラツキはあるが、この比率を邑楽町も増やすことによって、利用する人たちが多くなると思うが。

**町長** 率と限度額の両方を引き上げることではないと、効果は期待できないと思う。また逆に、幅広く利用してもらうためには、率を現状のまま限度額をどうするか、相関関係が出てくると思う。他市町村の状況をみて、その利用実績を踏まえた中で検討していきたい。



手続きの簡素化

**大野貞夫議員** ぜひ、研究していただきたい。もう一つは、今、全国的にも広がっている店舗にも適用するリニューアル制度。商店にも魅力ある制度ではないか。ただし、要綱を見るとかなり制約があり、手続きが複雑である。もう少し簡素化できないか。

**町長** 率や限度額、住宅、店舗併用住宅への制度の拡大、ということも含め、また、手続きの簡素化についても可能な限り進めていくことができると思うので、十分検討していきたい。

**その他の一般質問**  
・学童の交通安全対策について



制度活用によるリフォーム中の住宅

町主幹生活道路の  
整備計画と進捗状況は

**小島幸典議員** 町道18号線、鶉からすずかけ荘という老人施設、そして中央保育園への通りは細い道で雨が降ると片側に水溜りができてしまう。中学生の通学道路でもあり心配である。整備状況は。

**町長** 町内の幹線道路について事業計画をし、年度別にその進捗を図っている。特に18号線については、平成26年度に用地買収が一部を除いて完了し、平成27年度以降、電柱移転や側溝等の工事に入っている。

**小島幸典議員** 進捗状況について、予定の3年間、平成30年の開通までにどうなるか聞きたい。

平成30年に供用開始

**町長** 平成27年度は側溝整備

備と電柱移転の事業、平成28年度は路盤工、表層工を行い、平成29年度は表層工を行って、平成30年の供用開始を計画している。

**小島幸典議員** 道路を広げるために地主が協力してくれているが、現時点でどのくらい進んでいるのか。

**町長** 関係する地権者のうち、一部分を今、手続き中であるが、全て用地買収については済んでいる。

**小島幸典議員** 雷電橋から生協の通りまでの距離は、長い距離ではない。町道であれば国・県の許可申請はなく、町長の判断一つでできる。計画を急いで進め、平成30年の供用開始ではなく、用地買収が終わった時点で、早々に工事を進め、供用を早めてもらいたい。

**町長** 着工については全て

平成27年度に始める。道路ということになれば、将来的にわたって安全に使えるよう、一定の計画の中で間違いないよう工事施工をしていく。若干の時間はいただくこととなり、先ほど言った計画通りである。

**小島幸典議員** 平成30年には確実に開通する決意があるのか。

**町長** 供用開始することとしては、平成30年から通行できるということである。

**小島幸典議員** そういうことが決まると、19号線と交差する道路であり、19号線は今年12月に開通するのか。

**町長** 12月末に開通する。

**小島幸典議員** 開通すると18号線との交差点になる。信号機の申請等出しているのか。

**町長** 18号線と19号線の交差する交差点については、県の公安委員会に信号機

設置を含めて協議中で、現在手続きを進めている。

**小島幸典議員** 19号線が開通すれば、確実に信号機は設置できるか。

**町長** 18号線の工事が始まると、その交差点部分についての改良をどのような形で安全が保たれるか、十分考えたうえで進めて行く。

**小島幸典議員** 信号機が設置できなかった場合は、すずかけ荘、中央保育園等西から来る場合の道路は、迂回路をつくることを私は提案したい。

**町長** 交差点を利用しなくても、即右折や左折をして利用することを十分考慮して迂回路の利用も考えた。

#### その他の一般質問

・中央公民館建設費用  
国・県の補助金額は



改良工事が行われる町道18号線



The Lounge  
— 休憩室 —



井上 和哉  
(藤川・16区)

## 地域コミュニティの活性化

邑楽町で育ち、もうすぐ37年が経ちます。子どもの頃とは町の田園風景も様変わりし、時の流れを感じながら日々を過ごしております。

休日などは消防団、ソフトボール、野球を通してさまざまな方々と活動を共にし、年齢的にも町や行政区に関わる機会も多くなりました。

最近では、他県や他の行政区から来られ、住まいを持つ方も多いため、地元で30年以上続いているソフトボールクラブや消防団活動を通じて、若い方と年配の方の良きパイプ役となり、地域に貢献できたらと思っております。

## 生涯スポーツの推進について



スポーツに打ち込む子どもたち

**黒田重利議員** 町は、生涯スポーツの推進として、子どもたちから高齢者まで幅広い世代でスポーツに参加できるような仕組みを工夫して、元氣な明るい町づくりを目指している。そこで、子どもたちの視点から、スポーツにかかわるとなると、スポーツ少年団がある。現在のスポーツ少年

団の種目、登録団体数、全体の人数を聞きたい。  
**教育長** 種目は、野球、サッカー、ミニバスケットボール、剣道、柔道、空手道、卓球、レスリング、バレーボール、ドッジボールの10種目である。登録団体数は、野球4団、サッカー3団、ミニバスケットボールが2団で、16単位団ある。

登録団員数は、330人である。

**黒田重利議員** その中で、中学校の部活動で、継続できる種目と、部活動の状況についてはどうか。

**教育長** 10種目中、空手道、レスリング、ドッジボールはないので、7種目である。

**黒田重利議員** 邑楽中学校と邑楽南中学校で、部活動数に違いがある。スポーツ少年団員が中学生になると、継続していたスポーツ種目がないために、部活動に参加できないという現状があるが。

**教育長** 邑楽中学校の運動部の部活動数は、男女別に17あり、邑楽南中学校は12である。邑楽中学校にあり邑楽南中学校にない部活動は、ソフトボール、バレーボール男子、卓球、陸上、剣道の5つである。

**黒田重利議員** なぜ、そのように差があるのか。

## 心で見ると



平井 克枝  
(大谷端宿赤東・31区)

春から初夏にかけて実によくの花々が心に潤いを与えてくれる。季節は深緑の季節となり、まもなく向日葵の黄色が目にしみる季節となる。

花々を見て美しいと感じる人、可憐と感じる人、力強いと感じる人、その時々心の持ちようで花への思いも変わる。

形としての花は見えても、どう感じるかは心次第ではないか。美しいものを本当に美しいと思える心の余裕がほしい。

花々以外にも人の行いや思いやりや何気ない仕草にも感動する心がほしい。美しいものを美しいと思える心が、今こそ必要な時代であると盛夏に向かいそう思う。もちろん力強い心もほしいものである。



**教育長** 職員数の問題がある。現在、邑楽中学校が31名、邑楽南中学校が22名とというのが現状である。

**黒田重利議員** 職員数が足りないことに加え、部活動の種類も少ないのは不公平ではないか。顧問が教員でなければならぬということに対して、何か得策はあるのか。

**教育長** 昨年、県中学校体育連盟にマイタウンティーチャーでも、顧問として部活動を持てるようにと掛け合った。中体連からマイタウンティーチャーでもフルタイムであればという返事をいただいている。また、県の教育委員会でも検討するということで、今、返事を待っている。

**黒田重利議員** 次に指導者の育成について、太田市で開催された指導者育成講習会に参加したところ、成長期における食育、体のしくみ、心の変化について、と

ても興味深い内容だった。今後の町の指導者育成の具

### 指導者の 資質の向上

**教育長** スポーツ少年団で

## 町長と議会は現実直視の 町政と情報の提供を

**小沢泰治議員** 8年前の町長選挙。現在2期目があと少し、情報提供100%という公約を掲げたが、その間、必要な情報提供をどの程度してきたか。そのことをまず聞きたい。

**町長** 必要な情報については、できるだけ町民の皆さんにお知らせをして、情報を提供してきた。

**小沢泰治議員** 必要となる情報は提供したということだが、町民に必要な情報は主にとどのようなものがあるか。7つほど挙げていただきたい。

は、2人以上の認定員の登録が条件である。今年度は、自発性とやる気を引き出すコーチング理論をテーマに、指導者の資質の向上に役立つ講演会を9月に実施する予定である。

**町長** 町の事業を執行していくうえで、町民の皆さんにサービスを提供することが大きな仕事で、項目に限らず情報を提供してきたということである。

**小沢泰治議員** 基本的な情報提供が今の金子町政には欠けていると思う。いつも自分自身のため、自分自身の選挙のための情報提供。

それでは町民は幸せにされないし、これからの邑楽町を考えたとき、きつと後悔するような状態になる。人口ピラミッド、そういう邑楽町の基本的な情報が第

一。本当に大事な情報をしっかりと提供することが、行政としての役目、議会もそのとおりだと思う。邑楽町の人口のピークは平成17年、平成27年現在10年間で1300人減少している。

金子町長が首長になって町を牽引していく立場になつてから毎年毎年、人口は減り続けている。これから邑楽町がどのような町になるか、町民にどのような厳しさか回ってくるかわかると思う。町長どのような思いがするか。

**町長** 決して自分自身のため、選挙のために町政運営していることはない。小沢議員の発言は、ご意見として受け止めておく。人口減少は時代的すう勢の中で起こっている。邑楽町だけではない。

**小沢泰治議員** 全国的に減少しているのだと。邑楽町も同じだということを話しているが、私はやはり施策の打ち方によって解決でき

るだろうし、また改善もできると思う。邑楽郡下、館林市、太田市も含めて減少率が上から2番目と高い。なぜこの素晴らしい邑楽町でそのようになるか。邑楽町のこの平坦地、首都圏ということを考えて場合に、町長は現実にはどのように思うか。ただ日本中が減っているのだから邑楽町もという考えか、そうでなく、何か原因があると思うか。

**町長** 現実には邑楽町も人口減少が起きているので、それを少しでも和らげ増加に結び付ける施策が大切だと思う。

**小沢泰治議員** 1期4年間で過ぎ、次の4年間が今終ろうとしている。なぜ少しでも改善というのができないのか。

**町長** 今改善を行っていない。改善を進めているというのでご理解をいただきたい。



# 新潟県妙高市



齊藤 正己  
(鶴上・12区)

**私**の故郷は、新潟県妙高市(旧新井市)です。平成17年4月に妙高高原町と妙高村が合併し、ここに新井市が編入され改称して妙高市となりました。

妙高市は国内有数の豪雪地帯で私が高校生の頃でも積雪が5メートルに達するほどでしたが、今では積雪量も少なくなり、流雪溝や融雪設備、除雪ステーションの整備などで冬の生活も以前に比べ楽になったようです。

妙高市は新潟県南西部に

位置し、長野県と接しており実家から温泉やスキー場、また日本海側の海水浴場までも30分ほどで行けます。

また、四季がはっきりしていて春になると山菜採りにでかけワラビ、ゼンマイ、山ウド、ごこみなどを採り、特に竹の子は採ってすぐに皮むきし、竹の子汁を作っておくのが最高です。この頃は熊笹を採りに行き、おふくろが笹団子やちまきを作ってくれました。

秋には、きのこ採りに山

へ。美味しいきのこの汁を食べ、冬の寒い時期には心も体も温まるのっぺ汁を食べたい思い出があります。ぜひ、皆さんも自然豊かな妙高市へどうぞ。



いもり池からの妙高山



長い梅雨も明け、子どもたちは夏休みを楽しく過ごされていることと思います。

議会では、町議選後初の臨時会が5月21日に開催され、議長・副議長、各常任委員等が選任され、新たな議会構成が決まりました。

6月15日から19日までの5日間、第2回定例会が開催され、多くの議案が慎重審議され、議決されました。一般質問では、町政について、熱心な議論を行いました。中でも、情報公開について、9月議会から、本会議の様子をインターネットで録画配信するという新しい試みが提案されました。いつでもどこでも町のホームページを開けば議員や執行部の生の声を聴き、見ることができるようは、議会改革の第一歩であり有意義なことと思います。

(塩井記)

私たちが「議会だより」を担当します



黒田 原 塩井 松島 瀬山 大賀

新しい議会の構成が決まり、議会だよりの編集発行を担当する議会広報委員が決まりました。これからも、見やすい広報の編集に努めます。ご指導ご協力をよろしく申し上げます。